



千一ムカ合

～学校教育目標～

「気づき 考え 進んで行動する子どもの育成」

カ合小学校だより NO.3

令和4年4月27日

児童数:529名

文責:校長 馬場康弘



お世話になりました！

4月20日（水）にカ合校区自治会の皆様方に、本校の児童育成クラブ裏の樹木の枝とプール裏の樹木の枝を伐採していただきました。



また、22日（金）には、伐採した枝を自治会と尚学会役員の方で、処理していただきました。



平日にもかかわらず、多くの方々に作業をしていただきました。カ合校区自治会長の安井正春様からは、「子どもたちのためになることであれば、何でも協力しますよ。」という温かく力強いお言葉をいつもいただいています。我々も襟を正して、子どもたちの教育に全力を尽くしていきます。

顔の見えるお付き合いを！



22日（金）に今年度1回目の学級懇談会を行いました。保護者の皆様方には、多数ご出席いただきありがとうございました。授業参観もぜひ行いたかったのですが、コロナの感染状況も考慮し、今回は学級懇談会を対面とオンラインのハイブリッド型で実施しました。やはり、保護者の方と担任が年度当初に互いに顔を拝見しておくのは、教育効果を高める上でも大変有意義であると考えます。保護者と教師が膝を突合せ、顔の見える関係を築いておくのは、いつの時代も必要不可欠なことだと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

避難経路を確認しました！

先週から今週にかけて、学年ごとに避難経路の確認をしました。震度5強の地震が発生したことを想定し、次のように行いました。

- ① 激しい揺れが収まるまで机の下で体を守る。
- ② 揺れが収まったら、職員が階段や廊下の安全

を確認する。

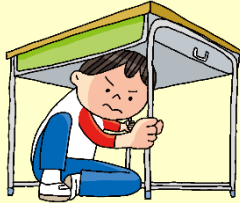
③安全が確認されたら、「お・か・し・も」を合言葉に頭部を守りながら速やかに避難を開始する。

「お」：押さない

「か」：かけない（走らない）

「し」：しゃべらない

「も」もどらない



訓練のための訓練では意味がありません。どの学年も真剣な表情で訓練に臨んでいました。

また、校長の話は校内放送で行いました。以下のような話をしました。

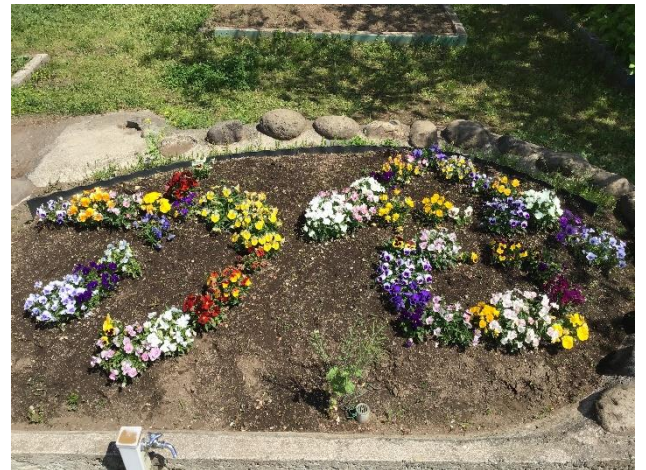
今回の地震避難訓練では、「震度5強」という大きな地震が発生したという想定でした。「震度5強」がどの程度かということ、「物につかまらな」と歩くことが難しい。」「棚から食器類や本などが落ちてくる。」程の激しい揺れになります。

これまで各学級や学年ごとに避難経路を確認してもらいましたが、揺れが収まってもすぐに避難せずに、先生方が避難経路の安全を確認された後に、避難を開始したと思います。それはなぜだか分かりますか？ 気づいた人もいるでしょうが、それだけ揺れが激しい地震が起きたら、校舎の壁や廊下、階段などにひびが入って、使えなくなることも考えられます。そこで、校舎内の廊下や階段が安全に使えるか確認をしてから避難を開始したのです。

他にも、激しい揺れのために放送機器が壊れて使えなくなるかもしれません。そうしたときには、人の声で避難を呼びかけることも必要でしょう。避難の仕方には、これが一番正しいという方法はないのです。その時の状況で、命を守る行動は変わってくるのです。ただ、地震が起きてから基本となるのは、「激しく揺れている間は机などの丈夫な物の下にもぐって体を守り、揺れが収まったら安全を確認して防災頭巾などで頭を守りながら外へ逃げる」ことです。このことは覚えておいてください。

地震はいつ起こるか分かりません。ひょっとして今日起こるかもしれませんし、10年後に起こるかもしれません。天気のように予想ができていくことが地震の怖さなのです。みなさんも知っていると思いますが、6年前、熊本地震が起きました。6年生が年長さんの時ですね。皆さんの中にもその時の激しい揺れを覚えている人もいることでしょう。熊本地震では、大きな地震が2度続けて起きました。そんな地震はそれまで聞いたこともありませんでしたので、1回目の大きな地震が起きて、「もう大丈夫だろう」と思い込んでいました。もちろん校長先生もそう思い込みました。だから、2回目の地震の時に、大きな被害が出てしまったのです。だから、避難訓練の日だけではなく、時々学級でも地震について話し合いながら、いざという時のために備えてほしいと思います。

最後になりますが、力合小学校の目標である「気づき 考え 進んで行動する」ことは、最終的には、「自分の命を守る」ことにつながっていることを伝えておきます。



今、尚学会の花壇には、パンジーの花で「力合」という花文字がきれいに描かれています。冬から大切に育てられてきて、今が見ごろの時期を迎えています。学校へお越しの際は、ぜひご覧ください。場所は、トネリコの木があった所の近くです。

また、明後日から大型連休に入ります。子どもたちも楽しみにしていることでしょう。新型コロナウイルス感染防止対策の継続と安全なお休みとなることを願っています。